

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 25 年 4 月 18 日 (2013.4.18)

【公開番号】特開 2012-255172 (P2012-255172A)

【公開日】平成 24 年 12 月 27 日 (2012.12.27)

【年通号数】公開・登録公報 2012-055

【出願番号】特願 2012-197327 (P2012-197327)

【国際特許分類】

C 0 9 J 133/04 (2006.01)

C 0 9 J 183/12 (2006.01)

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

C 0 9 J 11/06 (2006.01)

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

C 0 8 L 33/14 (2006.01)

C 0 8 L 71/02 (2006.01)

C 0 8 G 65/336 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 J 133/04

C 0 9 J 183/12

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 J 11/06

G 0 2 B 5/30

C 0 8 L 33/14

C 0 8 L 71/02

C 0 8 G 65/336

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 2 月 28 日 (2013.2.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 3】

ポリエーテル化合物 (B) が、

一般式 (2) :  $R_a M_{3-a} Si - X - Y - (AO)_n - Z$

(式中、R は、置換基を有していてもよい、炭素数 1 ~ 20 の 1 価の有機基であり、M は水酸基又は加水分解性基であり、a は 0 ~ 2 の整数である。但し、R が複数存在するとき複数の R は互いに同一であっても異なってもよく、M が複数存在するとき複数の M は互いに同一であっても異なってもよい。AO は、直鎖または分岐鎖の炭素数 1 ~ 10 のオキシアルキレン基を示し、n は 1 ~ 1700 であり、オキシアルキレン基の平均付加モル数を示す。X は、炭素数 1 ~ 20 の直鎖または分岐鎖のアルキレン基を示す。Y は、エーテル結合、エステル結合、ウレタン結合、またはカーボネート結合を示す。

Z は、水素原子、1 価の炭素数 1 ~ 10 の炭化水素基、

一般式 (2A) :  $-Y^1 - X - Si R_a M_{3-a}$

(式中、R、M、X は、前記と同じ。Y<sup>1</sup> は単結合、-CO- 結合、-CONH- 結合、または-COO- 結合を示す。)、または、

一般式 (2B) :  $-Q \{ - (OA)_n - Y - X - Si R_a M_{3-a} \}_m$

(式中、R、M、X、Y は、前記と同じ。OA は前記の AO に同じで、n は前記と同じ。)

Q は、2 価以上の炭素数 1 ～ 1 0 の炭化水素基であり、m は当該炭化水素基の「価数 - 1」と同じ。）で表される基である。）で表される化合物であることを特徴とする請求項 2 記載の光学フィルム用粘着剤組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

上記光学フィルム用粘着剤組成物において、ポリエーテル化合物（B）としては、

一般式（2）： $R_a M_{3-a} Si - X - Y - (AO)_n - Z$

（式中、R は、置換基を有していてもよい、炭素数 1 ～ 2 0 の 1 価の有機基であり、M は水酸基又は加水分解性基であり、a は 0 ～ 2 の整数である。但し、R が複数存在するとき複数の R は互いに同一であっても異なってもよく、M が複数存在するとき複数の M は互いに同一であっても異なってもよい。AO は、直鎖または分岐鎖の炭素数 1 ～ 1 0 のオキシアルキレン基を示し、n は 1 ～ 1 7 0 0 であり、オキシアルキレン基の平均付加モル数を示す。X は、炭素数 1 ～ 2 0 の直鎖または分岐鎖のアルキレン基を示す。Y は、エーテル結合、エステル結合、ウレタン結合、またはカーボネート結合を示す。

Z は、水素原子、1 価の炭素数 1 ～ 1 0 の炭化水素基、

一般式（2A）： $-Y^1 - X - Si R_a M_{3-a}$

（式中、R、M、X は、前記と同じ。Y<sup>1</sup> は単結合、-CO- 結合、-CONH- 結合、または-COO- 結合を示す。）、または、

一般式（2B）： $-Q \{ - (OA)_n - Y - X - Si R_a M_{3-a} \}_m$

（式中、R、M、X、Y は、前記と同じ。OA は前記の AO に同じで、n は前記と同じ。Q は、2 価以上の炭素数 1 ～ 1 0 の炭化水素基であり、m は当該炭化水素基の「価数 - 1」と同じ。）で表される基である。）で表される化合物が好ましい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 0】

前記ポリエーテル化合物（B）としては、

一般式（2）： $R_a M_{3-a} Si - X - Y - (AO)_n - Z$

（式中、R は、置換基を有していてもよい、炭素数 1 ～ 2 0 の 1 価の有機基であり、M は水酸基又は加水分解性基であり、a は 0 ～ 2 の整数である。但し、R が複数存在するとき複数の R は互いに同一であっても異なってもよく、M が複数存在するとき複数の M は互いに同一であっても異なってもよい。AO は、直鎖または分岐鎖の炭素数 1 ～ 1 0 のオキシアルキレン基を示し、n は 1 ～ 1 7 0 0 であり、オキシアルキレン基の平均付加モル数を示す。X は、炭素数 1 ～ 2 0 の直鎖または分岐鎖のアルキレン基を示す。Y は、エーテル結合、エステル結合、ウレタン結合、またはカーボネート結合を示す。

Z は、水素原子、1 価の炭素数 1 ～ 1 0 の炭化水素基、

一般式（2A）： $-Y^1 - X - Si R_a M_{3-a}$

（式中、R、M、X は、前記と同じ。Y<sup>1</sup> は単結合、-CO- 結合、-CONH- 結合、または-COO- 結合を示す。）、または、

一般式（2B）： $-Q \{ - (OA)_n - Y - X - Si R_a M_{3-a} \}_m$

（式中、R、M、X、Y は、前記と同じ。OA は前記の AO に同じで、n は前記と同じ。Q は、2 価以上の炭素数 1 ～ 1 0 の炭化水素基であり、m は当該炭化水素基の「価数 - 1」と同じ。）で表される基である。）で表される化合物が好ましい。

」と同じ。)で表される基である。)で表される化合物があげられる。